

# 日本の強み

ヘルスケア産業における

とは何か？

会場&WEB同時開催！参加方法は裏面

2024

5/18 土

13:30 → 17:00

全社協・

灘尾ホール

入場無料 要予約

座長

成川 衛 北里大学大学院薬学研究科教授

パネリスト

大和 隆志 エーザイ株式会社常務執行役

藺田 啓之 JCRファーマ株式会社常務取締役研究本部長

釜井 宏行 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長

下田 裕和 経済産業省商務・サービスグループ生物化学産業課長

来賓

内山 博之 厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官

ヘルスケア産業における日本の強みとは何か 開催趣旨

世界の創薬の潮流は、かつては低分子医薬品の開発、すなわち化学合成による創薬が中心であったが、21世紀に入って、徐々にバイオ創薬がその比重を高めており、さらに核酸医薬、細胞治療や遺伝子治療など、新たな技術が生み出されることにより、モダリティはいよいよ多様化している。日本のヘルスケア産業の課題として、これら新規モダリティにおいて、イノベーションが生まれにくい、構造的な状況に陥っているとも言われ、創薬面の「遅れ」や「弱さ」が最近ではクローズアップされている。これら日本の「弱み」を克服する方策に関しては、様々な場で多様な議論が為されている。

確かに日本のヘルスケア産業全体、というマクロな観点で見れば、バイオ創薬面での遅れなど、「弱み」に注目が集まりがちであり、克服する努力は必要であるが、一方で、特定の創薬技術や疾病領域、さらには生産技術など、よりミクロな点に目を向ければ、キラッと輝く「強み」も浮かび上がってくる。そして、企業の創薬を基

礎の面で支える、日本のアカデミア発の創薬シーズについても、ブロックバスターにつながるポテンシャルを持ったものが決して少なくないと言われている。疾患治療も以前のように生活習慣病や感染症、アレルギー疾患等、Common Diseaseが中心であった時代から、より希少疾患や個別治療が中心の時代へと移行しつつあり、Commonな技術に加え、個別の技術の優越性が、すなわち「強み」が重要になってきている。

当シンポジウムは、この「強み」に焦点を当てることにより、「なぜ強みとなり得たのか」、「その強みの本質は何か」、「その強みを生かすためにはどのような環境が必要なのか」、「強みを持つために、もしくは強みをさらに強化するために、行政としてはどのような施策、制度を考えていけるのか」などを議論する場としたい。

パネルディスカッション座長  
北里大学大学院薬学研究科教授  
医療科学研究所理事  
**成川 衛**

タイム  
テーブル

- 13:00 開場  
13:30 開会挨拶 医療科学研究所理事長 江利川 毅  
13:35 来賓挨拶  
13:45 座長基調講演

- 14:05 パネリスト講演(各15分)  
15:05 休憩  
15:20 パネルディスカッション  
17:00 閉会挨拶 医療科学研究所専務理事 松江 裕二

参加  
申込方法(要予約)参加  
無料

本シンポジウムは、**会場開催**(全社協・灘尾ホール)とオンラインシステムを使用した**Web配信**で同時開催いたします。多くの皆様にご参加いただけるよう、**開催当日まで参加申し込みを受け付けます。**

会場参加およびWeb参加のどちらかをご選択ください。  
いずれも下記ホームページから参加をお申込みください。

ホームページ

<http://www.iken.org/>

## 01 会場参加(全社協・灘尾ホール)

会場参加用フォームよりお申し込み後、電子メールにて登録票を送付いたします。登録票は、シンポジウム当日に受付へご提示ください。積極的な会場ご参加をお待ちしております。

会場参加には事前のお申し込みが必要です。

## 02 Web参加

Web参加用URLよりお申し込み後、ご登録いただいたメールアドレスにシンポジウム視聴用のURLを送付いたします。シンポジウム当日、同URLよりご参加ください。

※会場参加、Web参加とも、お申し込みいただいた個人情報は適切に管理し、登録票の発送と運営事務局からのご連絡以外の目的では使用いたしません。

開催日時

2024年5月18日(土) 13:30~17:00

開催会場

## 全社協・灘尾ホール

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビルLB階  
TEL: 03-3580-0988

- ▶ 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ▶ 地下鉄千代田線/丸ノ内線/日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩7~8分
- ▶ 地下鉄千代田線/丸ノ内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

会場MAP

